

Q1 ダイヤパワーはどんな建物に使えますか？

A1 戸建て住宅であれば在来軸組工法、伝統構造、2×4工法、に使用できます。（鉄骨造・鉄筋コンクリート造は不可です。）もちろん、3階建ての住宅にも使えます。

Q2 ダイヤパワーは阪神大震災級の大地震でも大丈夫ですか？

A2 ダイヤパワーの性能は「大地震に対して倒壊も損傷もしないレベル」が目標です。阪神大震災の地震波を使った単体モデルの実験でも、ダイヤパワーは「構造が損傷しない」ことはもちろん、「変形しても元に戻る」ことを確認しております。ダイヤパワーの建物では、大きな損傷が発生せず、地震後の補修費も少なくすむことが実証されました。

Q3 在来工法に使用するとどのような効果がありますか？

A3 在来工法は小さな地震では耐力壁で抵抗しますが、巨大な地震に対しては、粘り強さが乏しいため、大きな損傷を生じる危険性があります。そこで巨大な地震に対して、振動を弱めて粘りを発揮するダイヤパワーを加えることで損傷の危険性から守る事ができます。

Q4 粘弾性体の耐久性はどれくらいですか？

A4 ダイヤパワーに使用される粘弾性体はアクリル系樹脂で、その耐久性は100年もつといわれています。世界で最初に使われたアクリル系粘弾性体は35年経っても健全であることが確認されています。

Q5 従来の筋かいの代わりに使えますか？

A5 現状はご使用できません。ダイヤパワーは現状の建築基準法の壁倍率試験では耐力としてまだ認可されていないため筋かいや構造用合板のような耐力壁として算定されません。そのため、「耐力壁（筋かい・構造用合板）+ダイヤパワー」の形でご使用ください。あくまでもプラスアルファで使用していただくことになります。

Q6 耐震改修用に使えますか？

下記の検討をすれば、使用可能です。

A6 ①耐震改修に使うには既存建物の耐震診断及び耐震補強を実施し、現行建築基準法と同程度の耐力になっていることが前提となります。
②現状の基礎にホールダウン金物を取り付ける事がポイントとなります。詳細は、耐震改修マニュアル（日本防災協会編）を参照ください。

Q7 ダイヤパワーは一般の工務店や大工さんに頼めますか？

A7 工事の施工は工務店や大工さんに頼めます。取り付ける位置などは、しっかりとした構造計画が必要です。

Q8 工期はどのくらいですか？

A8 通常の住宅で1日あれば取り付け可能です。全体工期への影響はほとんどありません。

Q9 特別な申請は必要ですか？

A9 特別な申請は必要ありません。ダイヤパワーは、現状は耐力壁の壁倍率には算入しないので、通常の建築確認申請と全く同じです。

NICE ナイス株式会社

〒230-8571
横浜市鶴見区中央4丁目33番1号 ナイスビル7階
TEL.045(506)1313 FAX.045(521)6185
URL : <http://www.nice.co.jp>